

LGBT?

LGBT・性的少数者に該当する人は全国で約10%※

※LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」より

特集

多様な性について
考えてみましょう

LGBTQなどの性的マイノリティについて

最近TVなどでもよく聞く言葉ですが、耳に入ってくるだけでなんとなくは解るけど、身近にはいないから自分には関係ない、若い人たちだけの事でしょ、と切り離していませんか？

多様な性のあり方について

人は生まれた時の身体的特徴などから男女を判別し、性別が決められがちです。

生物学的性
(からだの性)

身体的特徴
などによる性

性自認
(こころの性)

自分が認識する
自分の性

性的指向
(好きになる性)

恋愛感情や
性的な関心の
対象となる性

性表現
(表現する性)

服装やしぐさ口調など
により、外部に
表現したい性

これらの4つの性の要素の組み合わせに決まりはありません。

LGBTQとは

L	= Lesbian(レズビアン) 女性の同性愛者 (性自認と性的指向がともに女性)
G	= Gay(ゲイ) 男性の同性愛者 (性自認と性的指向がともに男性)
B	= Bisexual(バイセクシャル) 両性愛者 (性的指向が女性にも男性にも向いている)
T	= Transgender(トランスジェンダー) 生まれた時の生物学的性と性自認の同一性に違和感を感じる人
Q	= Questioning(クエスチョニング) 自身の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは意図的に定めていない人

ほかにも

X	= Xgender(エックスジェンダー) 自分の性を男女のどちらでもある、ない、または、場合によって変わるとしている人
A	= Asexual(アセクシュアル) いずれの性にも性的指向が向いていない人
P	= Pansexual(パンセクシュアル) 性的指向において相手の性のあり方を条件としない人
C	= Cisgender(シスジェンダー) 生物学的性と性自認が一致する人
H	= Heterosexual(ヘテロセクシュアル) 異性愛者

このように名前がついているセクシュアリティだけではなく、名前がついていないセクシュアリティもたくさんあり、みなさんひとりひとりを含めて、性のあり方は多様なものです。

LGBTQだけではなく、近頃ではLGBTQ+という言葉も使われ始めています。セクシュアリティは多様であるからこそ、総称として何か言葉を決めてしまうと、それからもれるセクシュアリティも出てくるという見方もあります。

さまざまなセクシュアリティがある意味でも、LGBTQにプラスがつけられているLGBTQ+という言葉もあることを理解しておきましょう。

誰もがありのままの自分らしく生きられる社会の実現に向けて、「LGBTQ」の性の多様性について正しく理解しましょう。



編集委員より

初めて聞く言葉が多いせいか、また英単語なのも相まってわかりづらいかもしれません。日本語の意味を見てみるとそこまで特別な感じはしないのではないのでしょうか？英語というフィルターを外して見て、そこから大切なのは私とあなた・あなたと友達、一人一人顔や性格・考え方などが違うように1つの個性として受け入れることも大切なのではないのでしょうか。



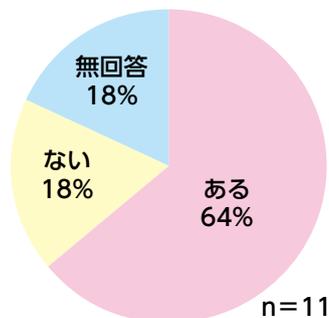
★ WING 編集委員レポート ★

性的マイノリティの人たちがどれくらいいるのかということについては、様々な調査結果が出ていますが、3～10%と幅があり、確定的な数字ではありません。

自身の性のあり方について、差別や偏見、無理解を恐れ、周囲に伝えることができないのが現状です。

今回編集委員が、当事者や関係者が集まり行われたセクシュアリティやジェンダーについて話す場におじゃまし、お話を伺ってきました。

●カミングアウトを考えたことはありますか？



カミングアウトを考えた理由は何ですか？

- 知ってもらいたいから
- 自分を隠してる気がして息苦しいと感じたから
- アウティングをされたから

アウティングとは

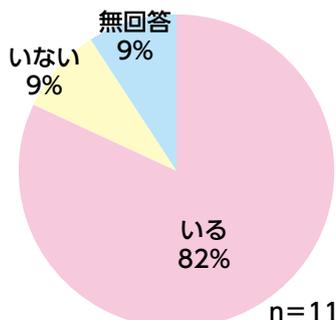
本人の了解を得ずに、他人へ性的指向や性自認等の秘密を暴露することです。

アウティングの危険性

状況や環境によっては本人の命や生活する場を奪いかねない危険な行為のため絶対に行ってはいけないことです。



●相談できる相手はいますか？

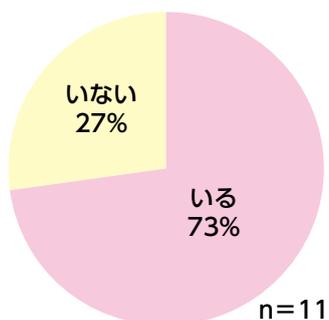


どのような相談をできる場があるといいですか？

- なんでもオープンに話せる場所
- 安全なSNS(担当者がLGBTをきちんと理解している人)
- 親や職場にどうやってカミングアウトすべきなのか(理解してもらうには)どうしたらよいか、を相談できる場所。パートナーを持っている人たちの相談の場があればいいです。
- 居場所。自分の言葉を偽らなくても素直に話せる場があるといい。
- ハラスメント被害の相談ができる場所(個別)
- 顔と顔を合わせて話せる場



●自分の周りにLGBTの友達や知り合いはいますか？



周囲の人達に知っていて欲しいことは何ですか？

- 皆、一人の「人間」だということ
- 赤や青以外に色々な色があるということ
- 色々な形や人がいます。全ての人が誇りを持って生きています。全ての人に自由と平等を下さい。
- どんな理由があっても独りではないということ
- LGBTを代表としたセクシュアリティや性自認について、趣味や病気だとは思わないで欲しい。



●社会や行政にどのような取り組みをして欲しいと思いますか？

- (LGBTに限らず)引きこもりの社会認知の向上
- パートナーシップ制度・同性婚・ファミリーシップ制度の概要等の発信をして欲しい。
- セクシュアリティを問わない交流会や勉強会
- 公的なサポート(健康保険・戸籍等)
- ジェンダーレスの服屋さんが欲しい。

LGBTなどの
相談

よりそいホットライン(福島・宮城・岩手専用)

☎0120-279-226

ガイダンス後4番を選択/24時間・通話料無料

東京弁護士会(セクシャルマイノリティ電話法律相談)

☎03-3581-5515

第2・4木曜日17:00～19:00/相談料無料



特別ではない誰もが自分らしく生きられる社会へ

